

## 「HBs 抗原《半定量》」 検査中止のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、標記項目につきましては測定試薬の販売中止に伴い、下記期日をもって検査受託を中止させていただきますので、取り急ぎご案内いたします。

先生方にはご不便をお掛けすると存じますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 検査中止項目／最終受付日

- [217] HBs 抗原《半定量》【MAT 法】

最終受付日／2021年3月31日（水）

### 代替項目

- 代替項目といたしまして[601]HBs抗原《精密測定》をご利用ください。

項目コード	601
検査項目名	HBs 抗原《精密測定》
検体量/保存方法	血清 0.5 mL / 凍結 [容器番号： 01 番 → 02 番]
検査方法	CLEIA
基準値	陰性（－） 判定基準 陰性 0.03 未満 陽性 0.03 以上 (IU/mL)
所要日数	1～2日
検査実施料/判断料	88点 / 144点（免疫学的検査判断料）
報告下限	0.03 IU/mL 未満*
報告上限	2,500 IU/mL 以上*
備考	※2021年4月1日より報告下限および報告上限を設定いたします。

## HBs抗原検査について

近年、HBV(B型肝炎ウイルス)について、感染スクリーニング検査やB型肝炎治療経過観察にはより検出感度の高い検査法が求められています。

また、HBV感染のある患者に対して、免疫抑制剤、抗悪性腫瘍剤、抗リウマチ剤などの免疫抑制作用を有する医薬品による治療をおこなった場合に、HBV再活性化が問題となっています。HBV再活性化による肝炎は重症化しやすくなるため、治療に際しては感度の高い測定法を用いて検査することが推奨されています。

※各社共通でHBs抗原検査試薬の添付文書に【重要な基本的注意】として以下の記載があります。

### 【重要な基本的注意】

B型肝炎ウイルス(HBV)感染の診断は、他の免疫測定法等と同じく、本品による陽性又は陰性の検査結果のみにより行わず、HBc抗体測定、HBV-DNA定量検査等、他の検査結果及び臨床経過を考慮して総合的に判断して下さい。特に下記の場合は使用方法に留意して下さい。

#### 1. 健康診断時のスクリーニング検査

できるだけ検査感度の高いEIA法/化学発光法などを用いた検出試薬を使用し、イムノクロマト法や凝集法で検出感度の低い検出試薬の使用にあたっては、十分に留意して下さい。

#### 2. 緊急検査

緊急対応として実施される迅速・簡便な検出試薬において、陰性と判定された場合でも、必要に応じてさらに検出感度の高い検出試薬で再検査することをお奨めします。

#### 3. B型肝炎と診断された患者の経過観察検査

EIA法/化学発光法、凝集法、イムノクロマト法等いずれの方法を用いた検出試薬でも使用できますが、陰性化した場合はより検出感度の高い検査方法で確認することをお奨めします。